

団体名：ウトナイ町内会
回答日：平成29年5月2日

要望書（回答）

1 通学路の安全対策について

通学路は、準備委員会で決定するとのことですが、この地域は交通事故が多発している地域であり、生徒及び地域住民の安全と安心に繋がるよう、地域からの声を十分に聞いた上で、信号機や横断歩道、ガードレールなどが設置されること求めます。

また、多くの生徒が通学することから、学校周辺においては、十分な歩道幅が確保されるよう歩道の拡幅を求めます。

【回答】（市民生活部安全安心生活課担当）

信号機の設置につきましては、北海道公安委員会の判断にて設置されるもので、道内で年間約1,000件の設置要望があり、平成28年の新設信号機設置数は4基と非常に厳しい状況でございますが、生徒・児童の安全が確保できますよう、地域・関係部局と連携を密に図りながら、苫小牧警察署に対し個別要望の実施なども含め、積極的に要望活動を実施してまいります。

なお、4か所の要望箇所のうち、「ウトナイ北7丁目×北6丁目」交差点並びに「ウトナイ南3」ウトナイ保育園前の2か所につきましては、すでに継続して要望を行っていることを、申し添えさせていただきます。

【回答】（教育部施設課担当）

学校敷地周辺の歩道の拡幅は、南西側と南東側を実施いたします。現在、南西側と南東側の歩道幅は1.25mですが、北西側と同じ2.5mに拡幅いたします。

2 駐車スペースの確保について

学校行事や生徒の送迎等により保護者が学校に車で出向く際、中学校の駐車スペースでは対応しきれない状況も想定されることから、近隣住宅前への路上駐車が発生しないよう、十分な駐車場の確保を求めます。

【回答】（教育部施設課 担当）

駐車スペースについては、学校敷地内に50台程度確保し、学校行事の際等はグラウンドへの駐車やウトナイ小学校の駐車場を利用することを検討しております。

送迎時等の路上駐車防止につきましては、学校側からも保護者に対して周知してまいります。

3 ウトナイ農園の移転先について

現在、ウトナイ地区の多くの住民がウトナイ農園を利用していることから、ウトナイ農園の移転先については、早急に考えを示すとともに、ウトナイ地区への再整備となることを求めます。

【回答】（産業経済部農業水産課 担当）

ウトナイ農園の移転先につきましては、ウトナイ地区において代替市有地があるか、その土地を活用できるか、将来的にどうなるかということについて、関係部署との協議を進めており、これからも行ってまいります。まずは、ウトナイ地区での選定を最優先に考えておりますが、当該地区での候補地がなかった場合は、現在開園している沼ノ端農園を拡充することを選択肢の1つとし、しっかりと検討していきたいと考えております。

4 地域への情報提供について

第16中学校の新設については、ウトナイ地域待望の中学校であり、今後の進捗状況なども含め、逐次情報が提供されることを求めます。

【回答】（教育部施設課 担当）

これまでも懇談会や住民説明会などにより、地域に情報提供をしてきましたが、今後も地域と連携しながら事業を進めてまいります。